

## この地に定住し木工で恩返しを



### 地域おこし協力隊

いし がき たく や  
石 垣 拓 也 さん

着任しました!

8月1日から、大滝区に新たな地域おこし協力隊として石垣拓也さんが着任しました。

札幌市で生まれ育った石垣さんは、サラリーマンを20年ほど経験した後脱サラし、常呂郡置戸町で、お椀やお皿などの木製の器を作る職人「木地師」として活躍されていきました。スポーツ好きで趣味はサーフィン・スノーボードとアクティブな一面を持ち、大滝区にはツーリングで何度も訪れたことがあったそうです。そのときに感じた大滝区の雄大な自然が、木を愛する石垣さんの心に響き、「移住するなら大滝区しかない!」と心に決めていたそうです。

これからの活動について、「大滝区の木から生まれた」という、ストーリー性を持った木工製品を創りたい」と、職人としての血が騒ぐ石垣さんは、1歳のお子さんを育てる子育て奮闘中のお父さん。自身の体験から、大滝区に外から人を呼び込むためには「安心して子育てができる環境の整備がとても重要」と話し、いつかは大滝区が一番子育てのしやすいまちだと言えるよう、子どもたちが健康で楽しく過ごせる大滝区を目指したいと、熱く語ってくれました。

また、すでに長期的な構想も持っていて、「子どもも大人も木にふれあえるような木工体験ができる空間を『さまざまなジャンルの作品を集め、みんなで作りみんなで楽しむイベントを成功させたい』木工の仕事を確認し、職人をこのまちから生み出したい」と、たかさんのアイディアがあふれ出します。石垣さんの職人魂がどのように大滝区の未来に溶け込んでいくのか、いまからとても楽しみですね!



フェイスブック

地域おこし協力隊の活動内容は、フェイスブックやInstagramで発信しています。

Instagram



### 表紙のはなし



暑さがやわらいできた8月中旬に、内浦湾の対岸に沈む夕日を撮影しました。

夕日もさることながら山々の稜線がまた美しく、沈み切ってしまうまでの数分間がとても名残惜しく感じられました。

### 楽 画 記

■「デルタ株」「ラムダ株」という言葉を目にするようになりました。デルタ(δ)・ラムダ(λ)はギリシャ文字で、高校から大学の授業・講義でたくさん見てきたので変な親近感を感じる一方、全然理解できなかった方程式がいくつか思い起こされ後悔の念に駆られます。勉強はできるときにちゃんとやっておきましょう(泣)。(は)

■8月30日(月曜日)から9月5日(日曜日)は防災週間です。防災用品の見直しや家族で防災会議を開くなど必要だと分かってもなかなか実行するのは難しいですね。8月上旬にも大雨が降ったことは記憶に新しいと思いますが、災害はいつ起こるか分かりません。この防災週間に機会に見直してみたいか教えてください。(き)

■北黄金貝塚を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産になりました。今月号では、北黄金貝塚公園を詳しくご案内しています。「久しぶり」の方も「行ったことがない」方もぜひ訪れてみてください。貝塚のある丘の上からは公園内はもちろん海まで見渡せて、晴れているととても気持ちがいいですよ。(や)

発行・編集

伊達市総務部総務課

〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20番地1

TEL 0142-82-3162

FAX 0142-23-4414

E-MAIL koho@city.date.hokkaido.jp

として保存しましょう